

10月 おだ学園保育園通信

【探究活動に繋がっています】

子ども達に海や水辺の生き物に触れたりする体験をしてほしい！と職員からの企画によって先月号でお伝えしましたタッチングプールが実現しました。

乳児は水の中で動いている生き物がとっても不思議であったりつるつるした貝やザラザラしたヒトデなどは子どもの五感をフルに使って目を輝かせて触れていました。また、幼児になると蟹やエイなど自分の手でどの位置で持ったらよいのか？や重さも実感したり、自分で捕まえられたことに自信をもったりと年齢に応じた体験をすることが出来ました。

また、電子黒板や書画カメラを使ってヒトデの裏を返すと半透明で無数の官足というものが見られそれが吸盤状になっていて岩などにくっついたり、歩いたりすることを知ることとなり画面をみながら「きれい〜」と口々につぶやき益々海の中の神秘性を感じていました。



子ども達の上記の様子は早速夕方電子黒板で配信。職員も初めての操作に右往左往しながら保護者の方々にご覧いただけました。

※「とうきょう すくわくプログラム」とは東京都が推進するすべての乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を応援する幼保共通のプログラムです。乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするため、主体的・協働的な探究活動を通じて幼児教育・保育の充実を図ることを目的としています。プログラムでは、各園の環境や強みを活かしながら、各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実践することで、乳幼児の成長・発達をサポートしていくという支援です。

【給食室の先生も保育の現場に参加】



2歳ばんだ組の子ども達の食はどうか？

食事の時間に子ども達の様子やお手伝いに保育士と一緒に対応して頂いています。

今月は1歳うさぎ組のおやつ時間帯にも参加していただきます。子ども達とも仲良しになり食もより一層身近に感じます。